

## 第 41 回バイオレオロジー・リサーチ・フォーラムのご案内

第 41 回バイオレオロジー・リサーチ・フォーラムを下記のとおり開催いたします。

複数種類の細胞を体外で培養して三次元的に構築して機能を付与する研究開発は、医療応用、薬剤の開発におけるスクリーニングや安全性・有効性の評価に応用が期待されています。また、将来的な世界の人口増加を見据えて細胞から培養肉をつくる基礎研究も行われており、3次元構築における微小循環における物質輸送のレオロジー研究は1つの鍵となります。

また、柔らかい細胞や組織に作用する力を計測する技術の研究開発は、細胞や組織の力学的特性の解明や、作製する3次元組織の機能の評価に応用が期待されます。

本バイオレオロジー・リサーチ・フォーラムでは、細胞の3次元積層技術の研究開発、そして、柔軟性のあるフィルムセンサを用いた組織に作用する応力の計測技術に関する研究開発についてご紹介させていただきます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

主 催：日本バイオレオロジー学会

日 時：2021年10月22日（金）

場 所：第69回レオロジー討論会（Web開催）

テーマ：「3次元組織構築技術と力学特性計測技術の展望」

司 会：岩崎清隆（早稲田大学先進理工学研究科 共同先端生命医科学専攻）

講 演：

1. 15:20～16:00

「細胞シートの3次元積層技術開発による医療・薬剤評価・食肉応用への展望」

坂口勝久（早稲田大学先進理工学研究科 生命理工学専攻 准教授）

2. 16:20～17:00

「フレキシブルフィルムセンサーを用いた力の計測」

森脇 健司（弘前大学理工学部知能機械工学科 准教授）

参加費：レオロジー討論会参加者は無料

問い合わせ先：日本バイオレオロジー学会事務局 東海大学医学部内科学系循環器内科学  
office@biorheology.jp